

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 友岡邦之	(学部) 地域政策学部
1 重要事項	
a) 小林真理 (編)『行政改革と文化創造のイニシアティヴ：新しい共創の模索』(美学出版, 2013 年) の刊行 本書は、2008 年から 5 年にわたる日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)「行政構造改革が戦後日本の芸術文化政策の成果に与えた影響に関する研究」の成果をまとめたものである。友岡は第 2 章「基礎自治体の広域化と新しい市民活動の台頭：“平成の大合併”が地方の文化振興にもたらしたもの」の執筆を担当した。 http://www.bigaku-shuppan.jp/book/035AdministrativeReform.html	
b) 『文化経済学』編集長としての業務遂行 文化経済学会〈日本〉の機関誌である『文化経済学』の編集長として、第 10 巻第 2 号および第 11 巻第 1 号を刊行した。その他、日本文化政策学会および日本地域政策学会でも学会誌編集業務を担当。 http://www.jace.gr.jp/rijikai_yakuin.htm	
c) 上毛新聞連載コラム「視点 オピニオン 21」への寄稿 上毛新聞の連載コラム「視点 オピニオン 21」にて 11 月より連載を開始。平成 25 年度中は 3 回寄稿。 http://www.jomo-news.co.jp/news/kikaku/opinion2013/opinion20131116.html http://www.jomo-news.co.jp/ns/series/7313897605348979/opinion_detail.html http://www.jomo-news.co.jp/ns/series/1513946909185334/opinion_detail.html	
d) FM ぐんま番組「ラジコモンズ」パーソナリティの担当 友岡が調査研究活動と地域貢献活動を兼ねて、運営スタッフとして参画している NPO 法人「ジョウモウ大学 http://jomo-univ.net/ 」が提供する番組「ラジコモンズ」(火曜日 15:30-15:45 放送) のパーソナリティを 1 年間担当した。 https://www.facebook.com/radicommons http://www.fmgunma.com/radicommons/radicommons.php	
2 その他の事項	
a) 高崎青年会議所・公共都市たかさき策定委員会事業への参加 高崎青年会議所が主催する「街の魅力を再発見 ウォークインたかさき」に、コメンテーターとして参加した。 http://takasaki-jc.com/report/000187.php	

b) アーツ前橋シンポジウムへの参加

アーツ前橋シンポジウム「地域とアートを紡ぐ 3 日間」にモデレーターとして参加。豪雪のため企画が変更されつつも、シンポジウムの司会を担当した。

<http://www.artsmaebashi.jp/?p=2913>

c) 高崎市公民館第 3 ブロック獅子舞交流芸能祭への参加

高崎市公民館第 3 ブロック獅子舞交流芸能祭に、第二部の意見交換会の司会として参加した。これは、これまで交流の無かった獅子舞保存会同士を会わせて、次世代への伝統の継承をめぐる問題について情報を交換し合うための初めての試みであった。

d) 「高崎 CIVIC VISION RUN」事業への参加

高崎市の地域づくりの今後を考える団体「高崎 CIVIC VISION RUN」の初めての事業「音楽センターから未来のたかさを考える」に、主催者として参加し、登壇した。

<https://www.facebook.com/events/712129565469193/?ref=22>

e) その他、高崎市屋外広告物審議会会長、群馬県文化審議会委員、群馬県景観市議会委員等として活動。